

(特非) 都留環境フォーラム

在来馬と耕す～持続可能で自立した暮らしの発信～

イベントの 延べ参加者数	200 人
活動掲載ホームページの ページビュー数	16,802ビュー
活動の全体目標 に対する達成度	25%



第2回馬耕大会での体験（5月17日）

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 第2回馬耕大会では、参加者は延べ76名であったが、はたらく馬フェス（第3回馬耕大会）では、延べ120名を超える申し込みがある。馬耕復活が1都9県のニュースで放映され、馬耕の活動が認知されつつある。
- 工夫** 馬耕を実践する中で復活させる取組みと、その田んぼでの生産品である米作りを実践してきた。

課 題

化石燃料に頼った食料生産に対し、持続可能な資源による生産方法を確立。循環型の仕組みを取り入れた暮らし方を発信し、持続可能な暮らしへライフスタイルを見直す。

活動内容

馬耕を田んぼで実践し、馬の扱いや道具の使い方の問題点を解決しつつ、馬耕による米を生産した。現代の技術により、暮らしでの実用化を目指す。馬耕の取組みを全国的に発信するため、「はたらく馬協会」として国内の実践者とのネットワークを作り、馬耕大会や、はたらく馬カフェを開催した。馬との持続可能な暮らしを作り出すワークショップを開催。馬耕を含めた持続可能な暮らし方を発信していく準備を進めている。



馬耕実用化に向け、効率2倍にする練習

今後の課題

馬耕を含めた馬との暮らしを実践し、これを発信する場として「はたらく馬フェス」を開催。様々な土での馬耕実績を積み、実用化に向けた実力をつけるため、出張馬耕を全国で行う「馬耕キャラバン」を行う。